

「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に 向けた提案・要望

分野別提案・要望

分野4

成長の活力をつくる分野

■ 県産木材の利用拡大と林業の振興



【財務省、農林水産省、林野庁】

県担当課：森づくり課

1 公共建築物等の木造化・木質化に対する支援の確実な実施



【財務省、農林水産省、林野庁】

◆提案・要望

地域材の利用を一層進めるため、公共建築物等の木造、木質化に対する補助制度の充実、補助対象の拡大や補助要件の緩和、十分な予算の確保など支援の拡充を講じること。

◆本県の現状・課題等

- ・ 林野庁の「林業・木材産業再生基盤づくり交付金」（令和2年度事業名「林業・木材産業成長産業化促進対策交付金」）は、平成27年度まで1/2であった補助率が、平成28年度に木造建築15%、内装木質化3.75%と大幅に引き下げられた。
- ・ 平成29年度からは、補助対象から庁舎などが除外されたほか、床面積あたりの木材使用量を相当厳しい水準まで引き上げたことから、多くの建築物が補助対象外となった。
- ・ さらに、平成28年度以降は要望額が予算枠を大きく上回ったことから、都道府県及び各事業主体への配分額が著しく削減された。
- ・ 公共建築物等の木造、木質化を推進するためには、補助要件の緩和、予算の確保など支援の拡充が早急に必要である。

◆参考

林業・木材産業成長産業化促進対策交付金	公共建築物の木造・木質化
令和元年度要望状況（埼玉県） 要望額 190,015 千円 採択額 140,663 千円	公共建築物木造率（令和元年度） 全国平均 13.8% 埼玉県 14.8%
令和2年度要望状況（埼玉県） 要望額 103,991 千円 採択額 63,691 千円	茨城県 22.0% 栃木県 19.1% 群馬県 26.5% 千葉県 21.2% 東京都 4.2% 神奈川県 5.7%
（注）補助金額	

■ 便利で安全な交通網の充実



【国土交通省】

県担当課：交通政策課

1 駅ホームでの転落防止対策の促進



【国土交通省】

◆提案・要望

鉄道事業者が計画的にホームドアの整備を進められるよう、必要な財源を確保すること。

◆本県の現状・課題等

- ・ 駅ホームからの転落事故や列車との接触事故は各地で発生しており、本県でも平成29年1月に京浜東北線蕨駅において、盲導犬を連れた視覚障害者が線路内に転落し、亡くられるという大変痛ましい事故が発生した。
- ・ 駅ホームからの転落防止対策として、ホームドアの整備は非常に効果の高い取組であり、国・地方・鉄道事業者が三位一体となって取組むこととされている。
- ・ 埼玉県5か年計画では、令和3年度末までに、ホームドア設置駅数を33駅にするという目標を設定し、ホームドアの整備が促進されるよう補助制度を設けている。
- ・ ホームドア整備にはホーム改良も含め多額の費用がかかることや車両の扉位置の統一等の技術的課題もあることから、整備はなかなか進んでいない状況であり、本県におけるホームドア設置済の駅は24駅にとどまっている。(令和2年度末)
- ・ 令和4年度からの埼玉県5か年計画でも、引き続きホームドア設置数を増やす目標を設定する予定であり、ホームドアの整備が促進されるよう補助制度も続けていく見込みである。

